

団体名:片平学区子育て支援ネットワーク連絡会

活動名:片平学区・多世代交流の場づくり

日時:令和 3年8月19日(木) 10時00分 ~ 11時30分
場所:成海神社社務所(緑区)

◆◆団体の紹介◆◆

片平学区で内の「子育て支援」団体や子ども・子育てに関わる地域の団体で構成する会。この連絡会に所属する団体同士の連携を深め、情報交換すると共に、学区に居住する子どもたちの健全な育成の支援と、家庭を含む子育て環境の整備・拡充を目的として設立。活動を通して、子育て支援の観点から、地域コミュニティの活性化を目指している。

◆◆活動の内容◆◆



本日は、「親子で学ぶ防災講座」です。長雨が続く週でしたが、中でもこの日は土砂降りの雨。それにも関わらず、会場には、小さな赤ちゃんや元気な小学生を連れてお母さん、大きなおなかを抱えた妊婦さんなど、10世帯の方が参加されました。会場は、成海神社の社務所。会場は広く、窓も開け放たられ、木の香りがして立派で、神社の方が防災の学習会という内容に賛同され、使わせてくださったそうです。地域に密着し、協力や理解を得られている点、さすが助成二年目となる団体さんです。

広い会場内を元気に走り回るちびっこたちのにぎやかな歓声響く中、まずは自己紹介。皆さん、参加した動機とともに、「避難所の備蓄品に子供のものってあるの?」「ミルクやオムツは?」「こども3人をどうやって連れて避難所へ連れて行くの?」など、お子さん連れならではの悩みや聞きたい事なども挙げられ、昨今の自然災害に対する危機意識や、防災への関心の高さが伺えました。



そこへ本日の講師『みんなのかけつけ訪問看護ステーション』の横山さんが登場。

地震が来た時の子供の守り方「ダンゴムシのポーズ」や、ポリ袋から簡易なオムツをつくる方法等を伝授。実際にみんなでやってみました。「避難所では、誰もいつもと違う環境にストレスを抱えていて、乳幼児や妊婦さんへの理解は難しい」との現実。そういった中で、「避難用品にはおもちゃを一つ入れておいてください、心の安定に必ず役立ちます」と、見逃しがちですがきっと役に立つ情報に、参加者は大きくうなずいていました。

地域の人が集まりやすい神社という場所で行われた「親子で学ぶ防災講座」。小さな子を持つ親という接点もあり、参加者同士の交流にもなりました。また、この場を共にした子どもたちの心にも、防災の意識の芽が生えたことと思います。このような活動が、日々の暮らしやすさや有事の協力体制を育て、住みよい地域づくりに繋がるのだろうと感じました。

